

# 国際認定 技術移転プロフェッショナル (RTTP)とは？

UNITT国際交流委員 兼  
技術移転プロフェッショナル国際連盟(ATTP)  
マーケティング委員  
加藤 浩介, PhD, RTTP  
([kato@uic.osaka-u.ac.jp](mailto:kato@uic.osaka-u.ac.jp))

# ATTP (Alliance of Technology Transfer Professionals)とは？

- 世界各国の技術移転協議会を束ねる国際連盟として、2010年からスコットランドに設立されている非営利組織。
  - ・目的1: 技術移転の過程で生じる複雑な諸課題を解決するために必要なコア・スキルセットを有する実務者個人を、RTTP (Registered Technology Transfer Professional) として国際的に認定してプロモーションする。  
※大学の技術移転・産学連携実務者だけでなく、ベンチャーキャピタリスト、企業のBusiness Developer等、**未成熟段階にある科学技術の商業化を担う全ての方が対象**
  - ・目的2: RTTPを志す技術移転実務者に対して、ATTP公認のトレーニングコースを提供する。



EU



Association of University Technology Managers®  
Advancing Discoveries for a Better World®

北米



イギリス



オーストラリア



スウェーデン



南アフリカ



ドイツ



日本

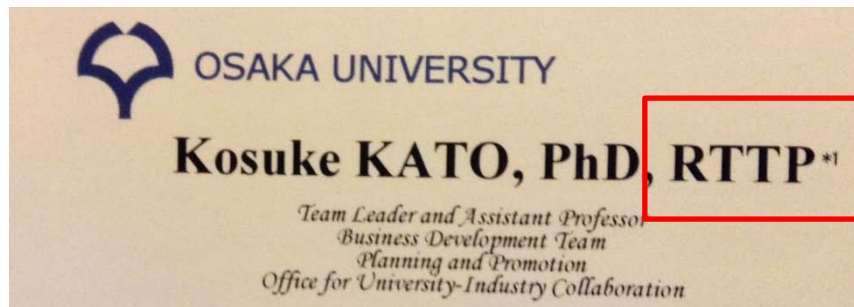
# 技術移転プロフェッショナルの国際認定 (RTTP) を受けるメリット

- RTTPとして登録されると、ATTPのWEBサイトに所属・役職・氏名が掲載される他、PhDやMBA等と同様に、名刺に記載することもできる。
- RTTPのステータスは、就職活動や技術移転・科学技術商業化の実務を進めるうえで有用であることが、米英を中心とするRTTP取得者へのインタビューから明らかとなってきた。
- 日本でも、ステークホルダ(例:発明者)の信頼を得るまでにかかる時間を短縮するのに有効と実感された。

## Registered professionals

Name	Org	Job Title
Mr Lindsay Adler	CSIRO	Executive Manager, Business Development Licensing
Mr Robert Al	Vrije Universiteit & VU Medisch Centrum	Sr. Business Development Manager
Ms Clara Amaro	Instituto Politécnico de Tomar	Executive Director of TTO

## ATTPのWEBサイトに所属・役職・氏名が掲載



'In short, RTTP allows me as the person ultimately making the hiring decision to compare, contrast and evaluate candidates even before I get them into the interview room. As such my willingness to consider candidates from around the world has been greatly enhanced as a direct result of the introduction of the RTTP designation.'

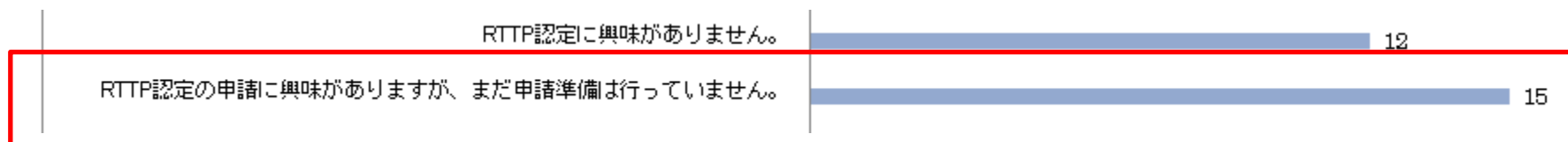
Sean Flanigan, B.A, LLB, RTTP  
University of Ottawa - Assistant Director, TTBE

名刺に記載

RTTPの有用性に関する体験談

## 5年後、世界の認定RTTPは推定600人に。日本からの申請者も増加

- ATTPは、現在までに、全世界で約250名の実務者をRTTPとして認定。およそ80人/年のペースで増加中。
- アジアではRTTPに認定されている実務者は未だ10名（インド1名、中国1名、日本8名（東大TLO・山本社長・天神取締役・石田取締役・鈴木アソシエート、九大・高田教授、京大・香月専門職、阪大・松橋産学連携教授、阪大・加藤））と少ないものの、大学技術移転協議会（UNITT）が2013年にATTPに加盟したのをきっかけとして、日本においても、RTTP認定申請中または申請準備中の実務者が徐々に増えてきている状況にある。
- 例：2014年2月に開催された、北米大学技術マネージャー協議会（AUTM）の年次大会直前に、日本からのAUTM参加者に対してWEBアンケートを行ったところ、**27人中15人の実務者が、「RTTP認定の申請に興味がある」と回答。**



- 研究大学としての体制整備を進めており、高度な専門人材の育成、配置に繋がる可能性があると考えます。
- 現在スタートしようとしている本学発明の国際活用に役立つか、興味を持った。
- しかるべき技能を備えた担当者として、グローバルに認定を受けるのは本人にとって自信に繋がり、仕事を依頼する側にもそのような資格を持った人に依頼することが安心となると考える。
- ぜひ申請したい。

# RTTP認定申請のプロセス

○登録申請費用:250米ドル

○ステータスの年間維持費用:不要

○更新費用:未定(3~5年に1回更新費用が必要となる可能性あり)

○登録申請期限(約3カ月に1回):

直近:2015年4月23日

○プロセス:WEB申請→合否通知→登録

・合格率:2013年8月7日に開催されたAUTM Webinarによれば、約85~90%

・申請×切日から合否通知日までの期間:3~4週間程度

○申請方法:

ATTPのWEBサイト(<http://www.attp.info/>)から申請

# RTTP認定申請に必要な書類

- 実績と修了した研修の数によって、必要な書類は異なります。
- 詳細はATTPのWEBサイト(<http://www.attp.info/registration/>)を参照ください。

ルート 1:

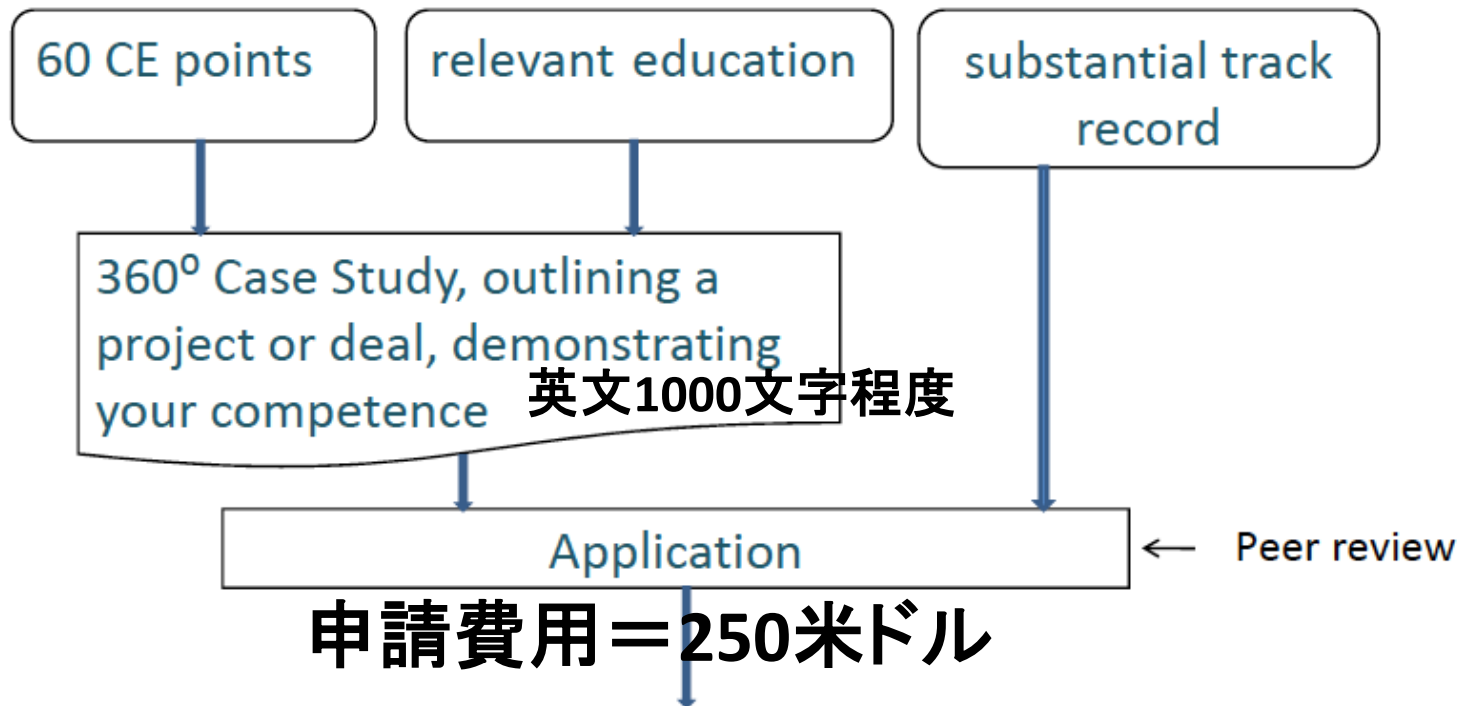
公認研修コースを  
60時間程度修了済

ルート 2:

ルート1・ルート3のい  
ずれにも該当しない

ルート 3:

実務経験5年以上で、  
かつ十分な実績※がある



# ルート3での申請で要求される「十分な業績」とは？

- 以下の5項目うち3項目以上を満たしている人が、ルート3の申請要件(ルート3で申請するにふさわしい技術移転プロフェッショナル候補)とされる。
- つまり、これらの仕事に自ら挑戦し、実績を積み重ねることで、RTTPへの道が拓かれるといえる。

§ That you occupy or have occupied a senior (Director level, leader of a significant team or equivalent) position in licensing within your institution. Please include size of institution, scope of role, who you report to and the roles/numbers who report to you.

§ That you have been a lead negotiator on one or more of the following: major licensing agreements; major strategic relationships or collaboration agreement; major equity-financing deals. Include details demonstrating the size and number of the deals.

§ That you have been an initiator, architect and lead of a major technology transfer or knowledge transfer initiative or programme (resulting in a budget of US\$3m+). Please provide a description of the initiative and your role in its genesis and execution.

§ That you have directed at least three practitioner courses or workshops for one of the founding Associations. Please list the courses and explain your role as developer, presenter or other.

§ That you have published multiple peer reviewed, thought-leadership papers relevant to the TT Profession. Please provide a full reference for the publication.

# ルート1・ルート2での申請に必要なケーススタディー

- 自分にとって最も難解・複雑だった技術移転業務の実体験を取り上げ、1000文字程度の英文エッセイを申請する。
- つまり、こうした難解・複雑な業務に自ら挑戦し、少なくとも1つ実績を上げれば、RTTPへの道が拓かれるといえる。

- The overview should be in sufficient detail that the Panel can accurately assess the **complexity** of the case and the role of the applicant in managing the project.
- Examples would include but are not limited to:
  1. a significant licensing deal on which you were the lead negotiator
  2. the creation of a spin-out company that raised substantial funding - which you shepherded through its formative phase
  3. a significant research collaboration that you helped to put together and negotiate, one that had substantial impact on your institution
  4. development and or delivery of training programs, marketing or other initiatives for the technology transfer profession, and/or published multiple, peer reviewed papers relevant to the TT Profession.



# RTTPの単位(CEポイント)の貯め方

■ 以下のような公認コースを積極的に受講することで、RTTPへの道が拓かれるといえる。

- ATPが認める研修コースや会議に参加した場合、付与されるのがCEポイントです。
- AUTMの年次大会等に過去参加されている方は、既に自動的にポイントがたまっています。
- UNITT関連の会議や研修コースも、今後ATTPに認定申請していく予定です。

## • AUTM関連の会議/研修コース(例)

- Advanced TOOLS Course: 7単位
- Startup Business Development Course: 7単位
- Advanced Marketing Course: 3単位
- Technology Valuation Course: 3単位
- AUTM Annual Meeting Attendance: 14単位

## • UNITT関連の会議/研修コース

- G-TEC2015: 講義を1週間受講すると10単位、2週間受講すると20単位
- その他、今後申請予定

# 是非ご応募ください

- RTTP認定申請はWEBから手続きできます。詳細は、ATTPのWEBサイトをご覧ください。

<http://www.attp.info/registration/>

- 日本人向けの、RTTP登録申請マニュアルをUNITTのWEBサイトに掲載しています

<http://unitt.jp/>